

新型コロナウイルス感染拡大等の影響によって危機的な状況に置かれているナイジェリアの女性及び少女に対する国際連合教育科学文化機関（UNESCO）を通じた無償資金協力のプロジェクト開始式の開催

令和3年4月20日

令和3年4月20日、在ナイジェリア日本国大使館及びUNESCOは、日本政府の無償資金協力によってUNESCOと実施するプロジェクトの開始式をオンラインで開催しました。本プロジェクトでは、バウチ州、デルタ州及びゴンベ州の疎外されたコミュニティに住む、ジェンダーに基づく暴力の被害者である女性及び少女を主な対象として、心理・社会的サポート、リハビリテーション及びセカンドチャンスとなる教育機会を提供し、傷つけられた女性及び少女のエンパワーメントを実現することを目的としています。また、本プロジェクトでは、新型コロナウイルスの感染拡大によって悪化している社会的緊張の緩和を目的とし、性にに基づく暴力に対する市民の意識を向上させることにも重点を置いています。

プロジェクトの開始式において、篠澤孝幸臨時代理大使は、「先日、ナイジェリア北西部において、100名以上の子供たちが暴力的に学校から連れ去られた事件を私たちは深く憂慮しています。行方不明になった生徒のご家族に心からお悔やみを申し上げますとともに、学校は、子どもたちが学び、成長できる、安全な場所であるべきと主張したいと思います」と述べ、更に「日本政府は、ナイジェリアの人々、特に新型コロナウイルスに関する危機によって深刻な被害を受けている女性及び少女に対して、今後も着実な支援を続けていくことを改めて約束したいと思います」と述べました。

式典においては、ポーリン・タレン女性大臣及びチュクエメカ・ンワジュバ教育国務大臣のスピーチが連邦女性省及び連邦教育省からの出席者によってそれぞれ代読されました。

日本政府は、複合的な危機に見舞われているナイジェリアの女性及び少女のエンパワーメントの実現に向け、ナイジェリアのパートナーであり続けます。日本政府は、あらゆる性にに基づく暴力に反対し、女性及び少女のエンパワーメントのために、引き続き尽力していきます。

案件名及び実施パートナー	教育とアドボカシーを通じたよりよい福祉のための阻害されたコミュニティの女性及び少女のエンパワーメント（UNESCO）
供与額	240,845米ドル（約2,650万円）
案件概要	・性にに基づく暴力の被害者に対する心理・社会的サポート、リハビリテーション、女性及び少女に対するセカンドチャンスとしての教育機会の提供 ・性にに基づく暴力に対する市民の意識の向上を目指すプログラムの提供



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開始式はオンラインで開催されました。